

CMI 株式会社

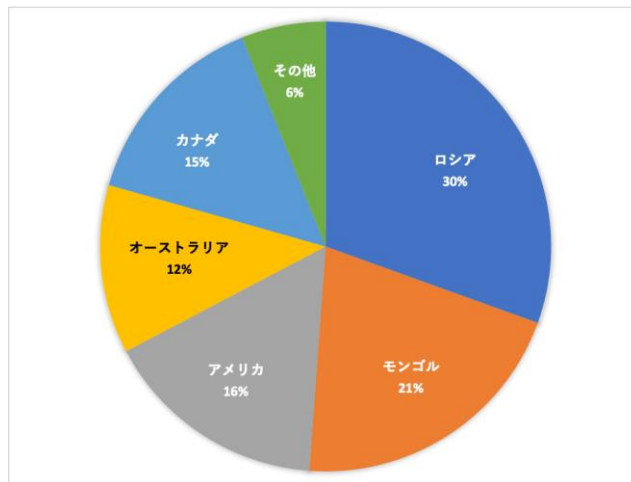
横浜市鶴見区東寺尾中台20-3-301

お問合せ電話: +81-45-717-8575

ロシアから中国への原料炭輸入が急増

2022年1~4月まで中国原料炭の輸入量は1,652.1万トンとなった。

輸入先別で輸入量が最も多いのはロシア（504.1万トン前年比129.8%増）で、全体の30%を占めた。次いでモンゴル（341万トン前年比49.1減）、アメリカ（266.5万トン前年比20.4%減）、カナダ（240.5万トン前年比7.6%減）の順だった。



出典：中国石炭資源網

図1 国別原料炭輸入の割合（2022年1~4月）

欧米の制裁を受けているロシアは中国への石炭輸出を拡大し、3年乃至5年以内に輸出量を1億トンに引き上げるとの目標を表明した。これが達成されれば、ロシア石炭輸出量の半分を中国が占めるようになる。

中国政府は2022年5月~2023年3月の石炭輸入関税をゼロにすると発表した。加えて中ロの石炭現物取引では人民元建て決済が導入された。これらによってロシアからの輸入がさらに拡大するとみられている。

しかし、対ロシア制裁による貨物船不足やロシア国内の鉄道輸送力不足などからロシア産石炭の中国への輸出は依然として制限されている。

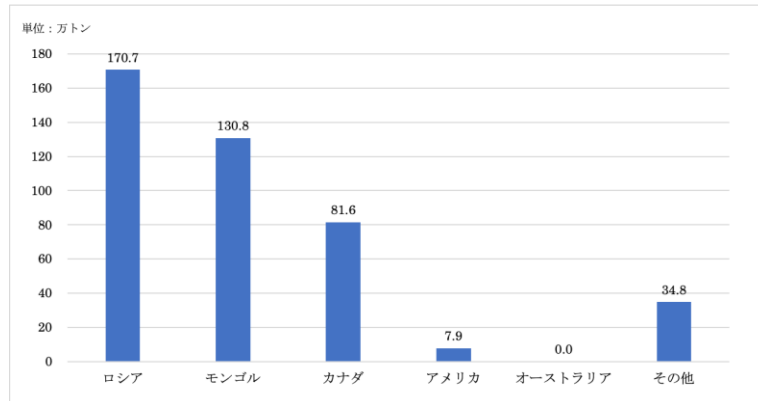
図2は2022年4月中国の国別原料炭輸入量で、全体は426万トンで、そのうちロシアからは170.7万トンで過去最高を記録した。第2位はモンゴルで130.8万トン、第3位はカナダの81.6万トンだった。アメリカは大幅に減少し7.9万トンとなった。

1~4月はアメリカからの輸入量が前年同期比45.1万トン増加したが、月別にみると減少し続けており、4月はわずか7.9万トンとなった。その原因はアメリカ産原料炭価格が国産価格を上回ったためだとみられている。

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3-301

お問合せ電話: +81-45-717-8575



出典: 中国石炭資源網

図 2 国別原料炭輸入量 (2022 年 4 月)

モンゴルからの原料炭輸入はコロナ感染拡大の影響で大幅に減少したが、6月から甘其毛都貿易港(所在地:内モンゴル自治区エジン旗。モンゴルの Gashuun Suhait 貿易港と対応する)と策克貿易港(所在地:内モンゴル自治区エジン旗。モンゴルの Shivee Khuren 貿易港と対応する)の通関が再開されるため、今後はモンゴルからの輸入が増加する見通しである。

情報源: 中国石炭資源網、豊鉱煤炭物流より整理作成。